

4.6怒りの決起で 局前を席卷せよ。

国鉄当局は、ゆが動労千葉が、労農連帯と日本労働運動の戦局的再生をかけた叩いぬいた三月ジミット決戦ストライキに対して大量報復不当処分を発表した。この不当処分の数は、公務法解雇四名を含む二二五名に及ぶものである。全組合員のみならず、この大量報復不当処分攻撃に対し怒りも新たに決起せよ。三月ジミット決戦ストライキに發揮された底力をふたたび奮い立たせ、政府・国鉄当局を戦りつせしめよ。

被処分者を守り 団結をうち固めよう

政府・国鉄当局による大量報復不当処分の内要は次の通りである。

- 解雇 西森 巖 (本部執行委員)
- 山口 敏雄 ()
- 水野 正美 ()
- 吉岡 正明 ()
- 閉 豊 ()
- 林 熊吉 ()
- 高橋 邦彦 ()
- 日暮 明 (成田支部委員長)
- 片岡 一博 (津田沼支部委員長)
- 永田 雅章 (千葉支隊支部委員長)
- 田中 康宏 (本部青年部長)
- 減給12ヶ月、大須賀昭男 (成田支部執行委員)
- 減給10ヶ月、高木 第二 ()
- 森内 猛 ()
- 南 弘明 (千葉支隊支部委員長)
- 桜沢 明美 ()
- 山下 幸 (津田沼支部副委員長)
- 重見 敏夫 ()
- 堀口 太一 (佐倉支部委員長)
- 窪田 亮 (勝浦支部委員長)
- 庄司 功 (館山支部委員長)
- 以下、減給5ヶ月(1名)、4ヶ月(4名)、減給3ヶ月(23名)、減給1ヶ月(6名)、減給1ヶ月(3名)、訓告(65名)、嚴重注意(1名)、計二二五名

4月6日、17時30分、局前に根こそぎ結集せよ

全組合員のみならず、この大量報復不当処分の狙いは、明らかに「動労千葉つぶし」のための攻撃である。三月ジミット決戦ストライキの全過程で動労千葉破壊に失敗した、権力、当局、動労「本部」スト破り集団の三位一体となった新たな密集せる反動攻撃である。われわれは、この敵の攻撃を正しく見据え、組織の命運をかけて決起し、不当処分粉碎・組織破壊攻撃を粉々にうちくたせ、より強固な団結をつくり上げる。ここぞ、勝利の核心であると確認しよう。

不当処分粉碎・当面する戦術

- 4月4日、8日 各支部抗議集会・抗議交渉に決起せよ。
- 4月6日、17時30分、局前総決起集会に結集せよ。
- 4月6日、8日、全組合員による減産B行動を貫徹せよ。千葉以西の国電関係乗務員は、各日とも、0時〜12時までB行動、12時〜24時までA行動を行え。
- 4月6日以降当分の間、全面的非協力闘争を貫徹せよ。

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

この大量報復処分を許せるか！